

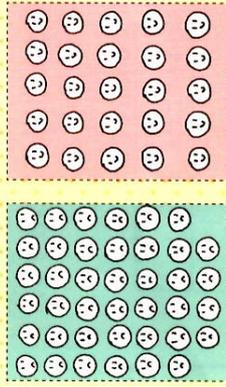
新型コロナ禍から 子どもたちと先生を守って 安心して学べる学校に！



十分な間隔をあげたゆとりある教室

一教室あたりの人数を減らして「20人学級」をめざそう！
空き教室の利用や、学校統廃合は中止を！

日本は40人（小2～高3）に対して
外国（ヨーロッパ・アメリカなど）は
24～30人があたりまえ！



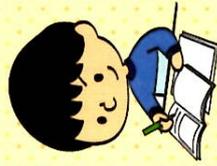
教職員の数を増やして！

わずか309人の増員で県内全ての小中学校
で35人以下学級が実現できます！
先生たちは、研究発表や各種校務に追われ、
授業準備や子どもたちと触れ合う時間がほと
んど取れません。



衛生作業等の業務員の配置を！

子どもたちの体温管理・給食の配膳・掃除・消毒などを
担任がたった一人で行っているのは岐阜県だけ！？



教職員と子どもたちの検査体制を！

学校の教室は、「夜の街」「カラオケ」などと比べ物にならない
いくらい「密」状態の毎日。検査もせざる放置すれば、各家庭ま
で感染が広がります。

家庭の教育費負担軽減を！

私立学校にも授業料の一部補助がありますが「無償」にはほ
ど遠い状況。ヨーロッパでは保護者負担はほとんどありません。
世界水準の教育予算にすれば幼稚園から大学まで無償化
が実現できます。

また日本の大学の授業料は世界一
高額。卒業時に「奨学金」という
名の借金が平均300万円にも！？
返済不要の給付制奨学金が必要です。



特別支援教育の充実を！

一つの教室も
カーテンで仕切り2教室=



特別支援学校では、増え
続ける児童生徒に対する
教室やトイレなどの整備
が追いついていません。
他の学校種にはある「設
置基準」がないことが原因
です。

施設・設備の拡充を！

子どもたちが安心して学校生活
を送れるように、老朽化した施
設・設備の改修・更新が必要です。
また、トイレの洋式化や障がい
者・LGBT対応もすべきです。



ゆきとどいた教育をすすめる岐阜県実行委員会
岐阜市徹明通 7-13 岐阜県教育会館 201
TEL058-215-7301 FAX058-215-7303



最新のニュース
はこちらから➡

岐阜県議会議長 様

**35人以下学級の前進、保護者負担の軽減、教育条件の改善を！
2020年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める署名**

1. 新型コロナウイルス感染症に対して、子どもたちの安全と学が権利を保障するため、大至急教育条件を整備してください。

- (1) 「20人以下学級」を目標に、空き教室の活用等で一教室当たりの子どもたちの数を減らしてください。最低でも「35人を超える学級」をなくしてください。また、学校統廃合計画は白紙に戻してください。
- (2) 業務増と教室増に対応できるように、教職員を増やしてください。
- (3) 衛生資材と衛生作業のための人員を、学校現場に手配してください。
- (4) 学校での感染を防ぐため、教育的配慮を施しつつ、教職員と子どもたちの感染検査体制を作ってください。
- (5) 感染が拡大している期間、過重な負担を強いられている学童保育などへの財政支援を行ってください。

2. 保護者負担を軽減してください。

- (1) 学校の教材費や給食費の保護者負担が軽減されるようなとりくみを、県としておこなってください。また、市町村や国へも働きかけてください。
- (2) 高校生に対する返済不要の「給付制奨学金制度」を、岐阜県独自につくってください。
- (3) 私立高校生に対する「就学支援金」の所得制限をなくしてください。また、私立学校への經常助成費補助金を増額してください。
- (4) 小・中学校への入学準備金を「入学前」に支給するよう、市町村に働きかけるとともに、県費でも援助してください。

3. 特別支援学校や特別支援学級・通級指導教室の教育を充実させるために、学級編成標準の引き下げや施設・設備などの教育条件を整備してください。また、特別支援学校の正規採用の教職員の割合を増やしてください。

4. 子どもたちが安心して学校生活を送れるように、古い施設・設備の改修・更新をおこなうとともに、トイレの洋式化や障がい者・LGBT対応をすすめてください。

●氏名・住所は他に利用しません ●地域・年齢等は不問、どなたでも署名できます

氏名 (フルネーム)	住所
	岐阜県 市町村

ゆきとどいた教育をすすめる岐阜県実行委員会
〒500-8879 岐阜市徹明通7-13 岐阜県教育会館201号 TEL058-215-7301

衆議院議長 様
参議院議長 様

**国の責任による35人以下学級の前進、教職員定数増、教育無償化、教育条件の改善を！
2020年度 すべての子どもたちにゆきとどいた教育を求める全国署名**

1. 新型コロナウイルス感染から子どもたちのいのちと健康を守るとともに、学が権利を保障するため、教育条件整備に全力をあげてください。

2. 教育予算をOECD 諸国並みに計画的に増やし、ゆきとどいた教育条件整備をすすめてください。

3. 国の責任で小・中学校、高等学校の35人以下学級を一刻も早く実現し、「20人以下学級」を展望した少人数学級をすすめてください。また、幼稚園や特別支援学級・学校の学級編制標準の引き下げをすすめてください。

4. 義務・高校標準法を改正し抜本的な教職員定数改善をすすめてください。

5. 教育費の保護者負担を軽減するとともに教育無償化をすすめてください。

- (1) 高校・大学等の学費無償化と高校生・大学生等への給付奨学金制度の拡充をすすめてください。
- (2) 私学助成国庫補助の増額と就学支援金拡充で学費の公私間格差をなくしてください。

6. 公立・私立ともに豊かな環境のもとで学べるよう、教育条件や施設の改善をすすめてください。

- (1) 特別支援学校にだけない「設置基準」を策定し、学校の新設・増設をすすめてください。
- (2) 学校の耐震化をすすめるとともに、洋式トイレや教室のエアコンの普及をすすめてください。

7. 東日本大震災などの地震や自然災害、福島原発事故の被害を受けた子どもを守り、学校と地域の要望を反映した復旧・復興をすすめてください。

●氏名・住所は他に利用しません ●地域・年齢等は不問、どなたでも署名できます

氏名 (フルネーム)	住所
	岐阜県 市町村

ゆきとどいた教育をすすめる会
〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館3階 TEL03-5211-0123

募金は任意ですが、ぜひご協力をお願いします。署名用紙製作、郵送などの費用にあてます。【郵便振替】00890-1-188232

【名義】ゆきとどいた教育をすすめる岐阜県実行委員会

募金額	

切り取らずに11月26日までに実行委員会へお届けください